
4 0 2 3. 積荷目録提出

業務コード	業務名
DMF	積荷目録提出

1. 業務概要

本船利用船会社毎に税関へ積荷目録及び仮陸揚届の提出（事前報告）を行う。

また、「出港前報告（AMR）」業務または「出港前報告訂正（CMR）」業務（以下、「AMR業務等」という。）で登録した情報に基づき、本船利用船会社単位（共同運航の場合は、各本船利用船会社の自社単位）に積荷目録情報を一括登録する。

ただし、既に「積荷目録情報登録（MFR）」業務により1件でも出港前報告の対象となるB/Lを登録している本船利用船会社である場合は、積荷目録情報の一括登録は行わない。

2. 入力者

船会社、船舶代理店

3. 制限事項

（1）積荷目録情報の一括登録を行う場合

- ① 1 B/Lで指定可能なコンテナ番号は最大200件とする。
- ② 1コンテナで登録可能なB/L番号は最大100件とする。
- ③ 1船舶情報*1（船会社コードを除く）に対して登録できる利用船会社数は、最大20件とする。
- ④ 1船舶情報（船会社コードを除く）に対して登録できるコンテナオペレーション会社数は、最大5件とする。
- ⑤ 1船舶情報（船会社コードを除く）に対して登録可能なB/L番号及びコンテナ番号は、合計で最大9999件とする。

（*1）船舶情報とは、以下の4項目を指す（以下、同様）。

- ① 船舶コード
- ② 船会社コード
- ③ 船卸港コード
- ④ 船卸港枝番

4. 入力条件

（1）DMF業務の場合

（A）入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 入力者が船舶代理店の場合は、入力された船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されていること。

（B）入力項目チェック

（a）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（b）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（C）積荷目録管理DBチェック

- ① 入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBが存在する場合は、積荷目録提出済の旨が登録されていないこと。
- ② 入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBが存在する場合は、内部処理中でないこと。

（D）積荷目録情報CY一括訂正管理DBチェック

入力された船舶情報に対して、「積荷目録情報CY一括訂正（CMC）」業務による内部処理中でないこと。

(E) コンテナ情報DBチェック

MFR業務でコンテナ貨物が登録された場合は、以下のチェックを行う。

- ①実入コンテナとして登録されている場合は、B/L番号が登録されていること。
- ②B/L番号が登録されている場合は、コンテナ情報が登録されていること。

(F) 出港前報告情報DBチェック

入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBが存在しない場合は、後述5.(1)(D)で出港前報告情報DBより抽出するB/L件数が1件以上存在すること。

(2) 内部処理（積荷目録情報登録（一括））の場合

後述5.(1)(D)で出港前報告情報DBより抽出したB/Lに対して以下のチェックを行う。

(A) 出港前報告情報DBチェック

- ①コンテナオペレーション会社が登録されていること。
- ②コンテナにかかる、荷渡形態コード、バンニング形態コード及びコンテナ条約適用識別が登録されていること。

(B) 貨物情報DBチェック

貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ①予備申告で登録されたB/Lであるか、または「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務により混載親の旨が登録されたB/Lであること。
- ②システム外搬入確認された貨物でないこと。

(C) コンテナ情報DBチェック

出港前報告情報DBに登録されたコンテナに対するコンテナ情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ①コンテナに登録可能なB/L件数を超えないこと。
- ②コンテナ情報DBの船卸港と、出港前報告情報DBの船卸港が同一であること。
- ③輸出コンテナとして登録されている場合は、最新更新年月日から一定期間経過していること。

(D) 包括保税運送DBチェック

出港前報告情報DBに包括保税運送を行う旨の登録がある場合は、以下のチェックを行う。

- ①出港前報告情報DBに登録されている包括保税運送承認番号に対する包括保税運送DBが存在すること。
- ②入力者と包括保税運送DBに登録されている包括保税運送承認を受けた利用者が同一であること。
- ③本内部処理の起動日が包括保税運送承認期間内であること。
- ④出港前報告情報DBに登録されているコンテナオペレーション会社が管理する保税地域と、包括保税運送承認を受けた発送地が同一であること。

5. 処理内容

(1) DMF業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 積荷目録管理DB処理

本業務による内部処理中である旨を登録する。

(C) 積荷目録提出先税関官署及び仮陸揚届出先税関官署決定処理

入力された積荷目録提出港コードを管轄する税関官署を積荷目録提出先税関官署及び仮陸揚届出先税関官署とする。

(D) 出港前報告情報DB抽出処理

(a) 抽出処理の実施条件

入力された船舶情報に対して以下のいずれかを満たす場合に抽出処理を行う。

- ①積荷目録管理DBが存在しない。
- ②MFR業務により以下の条件をすべて満たすB/Lが1件も登録されていない。
 - ・コンテナ詰貨物である。
 - ・コンテナタイプコードが「PL」以外のコンテナが入力されている。
 - ・仮陸揚貨物の旨が入力された場合は、最終仕向地コードが国外港でない。
 - ・船積港が国内港でない。

(b) 抽出処理

以下の条件をすべて満たすB/Lを出港前報告情報DBより抽出する。

- ①入力された船舶情報と一致する。
- ②AMR業務等が行われている。
- ③「出港前報告B/L関連付け(BLL)」業務により変更前B/Lである旨が登録されていない。

(E) 貨物情報DB、コンテナ情報DBおよび仮陸揚空コンテナ次港情報DB抽出処理

(a) 抽出処理の実施条件

前述5.(1)(D)で出港前報告情報DBより抽出したB/L件数が0件である。

(b) 貨物情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすB/Lを貨物情報DBより抽出する。

- ①入力された船舶情報と一致する。
- ②積荷目録登録済である。

(c) コンテナ情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすコンテナをコンテナ情報DBより抽出する。

- ①入力された船舶情報と一致する。
- ②積荷目録登録済である。

(d) 仮陸揚空コンテナ次港情報DBの抽出処理

仮陸揚空コンテナの場合で前港の「船積確認登録(CCL)」業務が行われる前に次港の積荷目録提出を行う場合は、入力された船舶情報と一致するコンテナを仮陸揚空コンテナ次港情報DBより抽出する。

(F) 内部処理の起動

(a) 内部処理(積荷目録情報登録(一括)(多数件))の起動

前述5.(1)(D)で出港前報告情報DBより抽出したB/L件数が1件以上存在する場合は、内部処理(積荷目録情報登録(一括)(多数件))を起動する。

(b) 内部処理(積荷目録提出(多数件))の起動

前述5.(1)(D)で出港前報告情報DBより抽出したB/L件数が0件である場合は、内部処理(積荷目録提出(多数件))を起動する。

(G) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(H) 注意喚起メッセージ出力処理

内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

(2) 内部処理（積荷目録情報登録（一括）（多数件））の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は、以降の処理を行う。

合致しなかった場合は「00000-00000-00000」以外の処理結果コードを設定の上、積荷目録提出結果一覧情報の出力処理のみを行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 各種DB処理

前述5.（1）（D）で出港前報告情報DBより抽出したB/Lに対して処理を行う。

詳細は、「積荷目録情報登録（一括）（MFI）」業務を参照。

(C) 貨物情報DB、コンテナ情報DBおよび仮陸揚空コンテナ次港情報DB抽出処理

前述5.（1）（D）で出港前報告情報DBより抽出したすべてのB/Lに対する処理が完了した場合は、以下の処理を行う。

(a) 貨物情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすB/Lを貨物情報DBより抽出する。

- ①入力された船舶情報と一致する。
- ②積荷目録登録済である。

(b) コンテナ情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすコンテナをコンテナ情報DBより抽出する。

- ①入力された船舶情報と一致する。
- ②積荷目録登録済である。

(c) 仮陸揚空コンテナ次港情報DBの抽出処理

仮陸揚空コンテナの場合で前港の「船積確認登録（CCL）」業務が行われる前に次港の積荷目録提出を行う場合は、入力された船舶情報と一致するコンテナを仮陸揚空コンテナ次港情報DBより抽出する。

(D) 内部処理（積荷目録提出（多数件））の起動

前述5.（1）（D）で出港前報告情報DBより抽出したすべてのB/Lに対する処理が完了した場合は、内部処理（積荷目録提出（多数件））を起動する。

(3) 内部処理（積荷目録提出（多数件））の場合

(A) 出港前報告情報不一致判定処理

抽出された貨物管理番号が以下の条件をすべて満たす場合に判定を行う。

- ①コンテナ詰貨物である。
- ②コンテナタイプコードが「PL」以外のコンテナが登録されている。
- ③仮陸揚貨物の旨が登録されている場合は最終仕向地コードが国外港でない。
- ④積港が国内港でない。
- ⑤積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）」業務が行われている場合は、入力された船舶情報がCMF03業務で登録された船舶情報と異なる。

(a) 出港前報告未済判定

MFR業務等にて出港前報告未済の旨が登録されていないことを判定する。

(b) 出港日時報告未済判定

MFR業務等にて出港日時報告未済の旨が登録されていないことを判定する。

(B) 積荷目録管理DB処理

- ①当該港における当該船会社分の積荷目録が提出された旨を登録する。
- ②本業務による内部処理中である旨を取り消す。

(C) 貨物情報DB処理

(a) 共通処理

当該港分の積荷目録が提出された旨を登録する。

(b) 出港前報告情報処理

抽出された貨物管理番号に対してCMF03業務が行われていない、またはCMF03業務が行われていて、入力された船舶情報がCMF03業務で登録された船舶情報と異なる場合は、以下の処理を行う。

①出港前報告情報DBの関連するハウスB/L情報にリスク分析結果の事前通知が登録されている場合は、その旨を登録する。

②出港前報告情報DBに以下のリスク分析結果の事前通知が登録されている場合は、オーシャン（マスター）B/Lに対する「DNU」の旨を登録する。

- ・HLD
- ・DNL
- ・DNU

③出港前報告情報DBに「SPD」が登録されている場合は、「SPD」の旨を登録する。

(D) 貨物到着前輸入申告扱いの本申告自動起動処理

(a) 一般貨物の場合

抽出された貨物管理番号に対する貨物のうち、貨物到着前輸入申告扱いの予備申告の登録がされている輸入貨物について、本申告処理を自動起動する。

(b) 混載親貨物の場合

①抽出された貨物管理番号に対する貨物が混載親貨物の場合は、貨物到着前輸入申告扱いの予備申告の登録がされている混載子輸入貨物を抽出する。

②抽出された混載子輸入貨物について、本申告処理を自動起動する。

(E) コンテナ情報DB処理

当該港分の積荷目録が提出された旨を登録する。

(F) 仮陸揚空コンテナ次港情報DB処理

当該港分の積荷目録が提出された旨を登録する。

(G) 出港前報告情報DB処理

抽出された貨物管理番号に対してAMR業務等が行われている場合で、CMF03業務が行われていない、またはCMF03業務が行われていて、入力された船舶情報がCMF03業務で登録された船舶情報と異なる場合は、以下の処理を行う。

①出港前報告情報DBに以下のリスク分析結果の事前通知が登録されている場合は、オーシャン（マスター）B/Lに対する「DNU」の旨を登録する。

- ・HLD
- ・DNL

②「DNU」の旨を登録した場合は、変更前のリスク分析結果の事前通知に応じた事前通知件名をシステムにより登録する。

③「DNU」の旨を登録した場合で、船卸許可申請情報が登録されている場合は、その旨を取り消す。

(H) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積荷目録情報登録結果一覧情報	内部処理（積荷目録情報登録（一括）（多数件）を起動した場合	入力者
積荷目録提出情報	なし	MFR業務で船卸先として指定されたCY 「積荷目録提出港を管轄する税関」または「書類提出先として指定された税関」 (監視担当部門)
仮陸揚届提出情報	仮陸揚貨物が存在する場合	入力者 MFR業務で船卸先として指定されたCY 「積荷目録提出港を管轄する税関」または「書類提出先として指定された税関」 (監視担当部門)
	以下の条件をすべて満たす場合 (1) 仮陸揚貨物が存在する (2) MFR業務で船卸先としてCYが指定されていない	「積荷目録情報追加登録(MFA)」業務を行った保税蔵置場、通関業
空コンテナ仮陸揚届提出情報	仮陸揚空コンテナが存在する場合	入力者
		MFR業務で船卸先として指定されたCY 「積荷目録提出港を管轄する税関」または「書類提出先として指定された税関」 (監視担当部門)
出港前報告不一致情報(税関)	「出港前報告情報不一致判定処理」において出力要と判定されたB/Lが存在する場合	税関
出港前報告不一致情報(民間)	「出港前報告情報不一致判定処理」において出力要と判定されたB/Lが存在する場合	入力者
リスク分析結果事前通知情報	貨物に、関連するハウスB/Lへリスク分析結果の事前通知が行われている旨を登録した場合 以下の条件のいずれかを満たす場合 (1) 貨物にオーシャン(マスター) B/Lに対する「DNU」の旨が登録されている (2) 貨物に「SPD」の旨が登録されている	税関
		入力者
		税関
		AMR業務等実施者 出港前報告情報DBに登録されている通知先
関連ハウス事前通知状況情報	貨物に、関連するハウスB/Lへリスク分析結果の事前通知が行われている旨を登録した場合	入力者
		AMR業務等実施者
		出港前報告情報DBに登録されている通知先

情報名	出力条件	出力先
出港前報告情報		税関